

磐梯山の慧み  
龍ヶ沢湧水

12月定例会、10/22、11/21臨時会

- \* 条例制定、改正・契約・補正予算… 2～3
- \* 臨時会…………… 4
- \* 一般質問…………… 5～11
- \* 視察受入・広報研修…………… 12
- \* 議員研修…………… 13
- \* ぼんだい名水シンポジウム…………… 14



# 12月定例会

## ばんだい移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例を可決

12月定例会は、8日から12日までの会期で開催され、条例の制定や補正予算など、町長提出の14議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

### 条例制定

ばんだい移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例

#### 1 制定の理由

町内のなかなか買手のかない物件や所有者から町に寄付をしていただける物件を町で取得し、リフォーム等を実施し移住者等に貸し出し、移住定住の促進を目的とする。

#### 2 主な制定の内容

名称及び位置  
本寺の家1

磐梯町大字磐梯字湯殿8

07番地

大寺一区の家1

磐梯町大字磐梯字道割堂

279番地1

入居資格

本町に移住又は定住を検討している者、入居後に地域活動等に参加可能な者等

入居期間及び譲渡

入居期間は最長10年とし、

期間経過後は入居者に譲渡可能とする。

### 条例改正

磐梯町上下水道委員会設置

条例

#### 1 制定の理由

水道委員会及び下水道委員会を廃止し、上下水道委員会に再編、上下水道事業及び下水道事業の経営及び事業計画に関する調査審議を行う委員会とする。

#### 2 委員構成

上下水道事業の受益者12名以内

#### 3 所掌事務

上下水道事業の経営に関する事項、事業計画に関する事項等

### 条例改正

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

期末手当の支給割合を改正するもの。

現行1000分の172.5  
改正1000分の175  
1000分の2.5引上げ

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

#### 1 期末手当

現行1000分の172.5  
改正1000分の175  
1000分の2.5引上げ

#### 2 給与の減額

町長 20%減額  
副町長 10%減額  
教育長 10%減額  
減額する期間は令和8年1月1日から3月31日まで

#### 1 期末手当

現行1000分の125  
改正1000分の126.25  
1000分の1.25引上げ

#### 2 勤勉手当

現行1000分の105  
改正1000分の106.25  
1000分の1.25引上げ  
給料表は、若年層に特に重

令和7年度福島県人事委員会勧告に基づき、期末手当及び勤勉手当の支給割合並びに給料月額を改正を行うもの。

磐梯町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

鏡株式会社「醸造生産に、磐梯山麓の森を満たす清流な「磐梯西山麓湧水群」の水を利用しており、醸造工場が所在する字名を当該法人名称と同一に変更することによって、名水PRと名水利用製品に付加価値を与え、もって誘致企業の活性化を図る。

「中曽根平」31筆のうち13筆を新たな字「天鏡」に変更

字の区域及び名称の変更について

#### 1 変更の理由

変更概要  
排水構造物工  
舗装工  
構造物撤去工  
電気設備工  
仮設工

#### 2 変更概要

社会資本整備総合交付金事業  
町道磐梯大谷線道路改良舗装工事請負変更契約の締結について

変更概要  
法面工  
排水構造物工  
舗装工  
構造物撤去工  
電気設備工  
仮設工

変更契約金額  
1億960万4,000円

点を置き、すべての号給を引上げ

### 工事契約変更

社会資本整備総合交付金事業  
町道磐梯大谷線道路改良舗装工事請負変更契約の締結について

#### 変更概要

法面工  
排水構造物工  
舗装工  
構造物撤去工  
電気設備工  
仮設工

変更契約金額  
1億960万4,000円

### 字の区域及び名称変更

字の区域及び名称の変更について

#### 1 変更の理由

磐梯町誘致企業である「天鏡株式会社」醸造生産に、磐梯山麓の森を満たす清流な「磐梯西山麓湧水群」の水を利用しており、醸造工場が所在する字名を当該法人名称と同一に変更することによって、名水PRと名水利用製品に付加価値を与え、もって誘致企業の活性化を図る。

「中曽根平」31筆のうち13筆を新たな字「天鏡」に変更

字の区域及び名称の変更について

#### 1 変更の理由

変更概要  
排水構造物工  
舗装工  
構造物撤去工  
電気設備工  
仮設工

#### 2 変更概要

社会資本整備総合交付金事業  
町道磐梯大谷線道路改良舗装工事請負変更契約の締結について

変更概要  
法面工  
排水構造物工  
舗装工  
構造物撤去工  
電気設備工  
仮設工

変更契約金額  
1億960万4,000円

字の区域及び名称の変更について

# 補正予算の概要

## 一般会計

**問** 企業版ふるさと納税の寄附者は。

**答** やりがいのある仕事づくり事業400万円については東京に本社のあるランドブレイン株式会社で、未来につながるまちづくり事業400万円については日曹金属化学株式会社である。

**問** 移住定住促進住宅と公営住宅目的外使用分の工事請負費の内容は。

**答** 移住定住促進住宅については、キッチン、風呂トイレ、リビング、ダイニングのリフォームを想定している。公営住宅目的外使用4戸分については、浴槽の改修、エアコンの設置、照明器具の取り付け、クロスの張り替え等を想定している。

**問** 除雪ドーザについて、現在何台あるのか、また、今後の更新、修繕費用の見込みは。

**答** 除雪ドーザは12台、その他除雪機械3台となっている。今回は、21年経過したものを更新予定、大体20年から30年間を目安に更新しており、修繕には、毎年か

なりの金額がかかっている。年間50万円から機械によっては100万円を超えるものもある。

**問** 町政アドバイザー委嘱について、不祥事対応やクレーム対応ということだが、どのような方を委嘱するのか。

**答** 警察署長を経験された方を委嘱する。今回の職員の不祥事対応については、迅速に対応したところだが、情報を収集しながら対応を迫られたという部分もあり、アドバイザーを今般お願いするものである。



会計	補正額	補正後の予算総額	主な内容
一般会計	1億9,095万7千円	66億8,696万1千円	法人事業税交付金、国庫補助金 県補助金、地方創生応援寄附金 基金繰入金、町債  人事委員会勧告に伴う給与改正 移住定住促進住宅事業費 物価高騰に伴う燃料券配布事業費 子育て世帯お米券配布事業費 清酒原料高騰対策事業費 医療センター費、道路橋梁費、ふるさと基金費
介護保険	0円	6億5,604万1千円	歳出予算内容補正
水道事業	56万1千円	1億4,739万円	人事委員会勧告に伴う給与改正による補正
下水道事業	26万円	2億6,610万4千円	人事委員会勧告に伴う給与改正による補正



10月22日

11月21日

◇磐梯町小中学校特別教室空調設備設置工事請負締結について

契約の金額 1億3、805万円  
契約の相手方 会津若松市千石町4番50号  
株式会社アークーズ会津

代表取締役 征屋 和久

◆一般会計補正予算(第6号)

3億1、810万円を追加し総額を64億9、163万5千円と定める。

歳入の主なもの

・ 寄附金 3億円(ふるさと寄附金)  
・ 繰入金 1、810万円(基金繰入金)

歳出の主なもの

・ ふるさと納税推進費 1億5、000万円  
・ 基金費 1億5、000万円

◆水道事業会計補正予算(第3号)

資本的支出予定額に5、000万円を追加し、補正後の資本的支出予定額を1億7、335万9千円と定める。

資本的支出

・ 配水管施設工事費 5、000万円

◇(仮称)ばんだい認定こども園新築工事請負締結について

契約の金額 5億7千5、335万5千円  
契約の相手方 大沼郡三島町大字宮下  
字宮下177番地

滝谷・会津土建特定建設工事共同企業体  
代表者 滝谷建設工業株式会社  
代表取締役 田中 智仁

◆一般会計補正予算(第7号)

436万9千円を追加し総額を64億9、600万4千円と定める。

歳入の主なもの

・ 繰入金 436万9千円(基金繰入金)  
・ 有害鳥獣対策費 436万9千円

# を 政 問 う

町

(一般質問)

(登壇順)

－ 穴澤 一郎 議員 － 5ページ

1. 急速な物価上昇に伴う住民生活等への支援策について
2. 令和8年度予算における町財政について

－ 五十嵐 大将 議員 － 6ページ

1. 児童生徒における家庭教育について
2. 地域包括ケアシステムの展開について

－ 古川 綾 議員 － 7ページ

1. 磐梯町ふれあいセンターの活用について
2. 深刻化する本町の少子化問題への対策について

－ 中嶋 貴子 議員 － 8ページ

1. 今後の町民体育祭のあり方について
2. 学校給食費無償化と魅力化施策に関する町の方針について

－ 高橋 浩次 議員 － 9ページ

1. メガソーラーについて

－ 小林 修治 議員 － 10ページ

1. 磐梯そば生産に係る支援の充実について
2. 「無理なく支え合う地域づくり」の取組と支援について

－ 鈴木 翼 議員 － 11ページ

1. 磐梯町に誕生する農業拠点について



↑  
一般質問の動画録画配信をYouTubeの磐梯町公式チャンネルにて行っています。こちらからご覧ください。

穴澤 一郎 議員

録画配信は  
こちら



**問** 物価上昇への住民支援は

**答** 敏速に支援策を講じる

【質問】現在、本町として物価高騰が町民生活に与えている影響について、どのように把握・分析しているか伺う。

【町長】本町においても深刻な状況であると承知しており、食料品や光熱費、燃料費の高騰が家計を圧迫し、町内事業者においても厳しい経営環境のなか、事業継続のために日々ご努力をされていると認識している。

【質問】特に灯油・電気などのエネルギーコスト上昇が家計に与える影響に対し、本町としてどのような支援策を検討または実施しているか伺う。

【町長】町内の子育て世帯に対し、児童ひとりあたり6千円相当の「おこめ券」を配布し、エネルギーコストの上昇に対する支援策として、町内に居住する各世帯に対し、1万円分の燃料券を配布する施策を講じたいと考えている。

【質問】物価上昇により仕入

価格・人件費が上昇している町内事業者に対し、経営支援や補助制度などの対応策を講じているか伺う。

【町長】清酒の原料となる酒米の急激な高騰が生じていることから、町内の蔵元に対して酒米の購入にかかる費用の補助を行いたいと考えている。

【質問】地産地消や地域内経済循環を強化するため、「ばんだいコイン」や地元購買促進事業を活用した新たな支援策を検討しているか伺う。

【町長】進化版のばんだいコインアプリにより、マーケティングデータを収集しデータの活用を図り、販売促進や商品開発で事業者の所得向上につなげていきたいと考えている。

また、事業者間でのばんだいコイン活用により、地域内経済循環の仕組みも有効であると考えている。さらに、国の補正予算による経済対策も注視しながら、町としても支援策を検討していく。

**問** 令和8年度町財政について  
**答** 活用可能な財源確保を図る

【質問】令和8年度予算を策定する時期にきているが、人件費・物件費・維持修繕費などの経常経費増に加え、こども園建設や住宅供給などの新規事業に対する町財政支出への影響と今後の見通しについて。

【町長】不断の財政構造の見直しが必要な状況であると認識している。来年度は次期総合計画の策定に向けた検討を実施する予定で、総合計画に連動して計上する事業を精査し、真に必要な事業を改めて見定めたいと考えている。

【質問】令和7年度の経常経費が大きく増加しその結果、経常収支比率も91・3%と望ましいとされている75%を大きく超えてきている状況。来年度以降で財政構造の見直しをどのようなプロセスで進めるのか今後の見通しを伺う。

【町長】国や県の補助事業を有効活用し、特別交付税の措置対象となる事業の展開やふるさと納税のさらなる推進を図り、新規的的事业に活用可能な財源確保を図っていく。

【質問】人口4,000人を目指して取り組む新規事業について、必要な資金をどのように確保し、さらに将来的にどのような視点で効果検証を行っていくのかを伺う。

【町長】こども園建設においては、過疎対策事業債のうち特別マネジメント分を活用し、有利な地方債を活用する。また住宅整備に係る事業については、整備の緊急性に鑑みて一般財源での実施としている一方、今後は活用可能な補助金や交付金、特別交付税等を精査して、町負担が少ない手法を模索していく。

五十嵐 大将 議員

録画配信は  
こちら



**問** 家庭教育のサポートは

**答** サポート体制を整え、関係者と共有していく

【質問】家庭教育の責任は親が持つものであるといわれているが本町、さらには全町民一丸でバックアップしていくことが重要と考える。町、教育委員会の考えを具体的に伺う。

【教育長】家庭教育は子供の人格形成の基盤であり必要な仕組み作りを構築し一体となった子育て支援を推進していく。

【質問】今、養育に関する悩みや心配事が出ており特に保護者へのサポート事業をより拡充すべきと考える。より幅広いネットワークで支援すべきと考えるが本町の見解を伺う。

【教育長】町単独での対応には限界があるため県の関係機関（医療機関含む）と連携を図りグレードアップした磐梯版ネウボラとして構築していく。

【質問】発達障害やその恐れのあるお子さんたちへの早期

支援（現状把握、検証等）をより強化推進していくことを希望するが本町で実践に向けたフローチャート等を考えているのか伺う。

【教育長】気づきの段階からサポートする体制を整えているが今後もこうした流れを明確にし、より関係者間で共有をしていく。



**問** 町民が満足する福祉医療施策について

**答** ケアシステムの充実をさらに展開していく

【質問】今、メンタルケア診療の必要性が多くうたわれているが専門医の配置等についての見解を伺う。

【町長】難しい状況にあるが今はオンライン診療や心理士によるカウンセリングを利用してほしい。

【質問】幸せプロジェクトにおけるケアシステムの立ち位置はどこにあるのか具体的中身について伺う。

【町長】幸せプロジェクトの目指すところには地域包括ケアシステムにある「地域内で助け合う体制づくり」の考え方も含んでおり、個々の計画においてその実現を補完している。

【質問】健康寿命延伸のために介護予防事業などが重要と考えるが、これらを発展維持していくための指針や対策はあるのか伺う。

【町長】既存事業の深掘りに加え、体験に基づく講話や心身のリハビリを兼ねた運動などケアシステムの輪が広がるような事業を今後も展開していく。



古川 綾 議員

録画配信は  
こちら



**問** 子どもを増やすための対策は？

**答** 前向きに検討する

【質問】本町の出生児数は令和6年度から一桁にとどまり、少子化は深刻な状況となっている。近隣で本町以上に誕生祝金を支給している自治体も増えてきているが、本町の誕生祝金を増額する考えは。

【町長】一過性となる現金支給の増額ではなく、町独自の制度を充実させ魅力を高めていきたい。

【質問】誕生祝金については、出産までに6か月以上本町に居住していることが支給要件となっているが、制限を緩和する考えはあるか。

【町長】「出産の時点で町に居住していること」へと要件を変更することを検討する。

【質問】首都圏の子どもたちが地方の小学校に短期間通う「小学校留学」が注目されている。本町でも小学校留学制度を導入する考えは。

【教育長】教育留学について

は再デザインセンターで検討した経緯がある。安定的に短期滞在できる施設や人的配置等の課題もあるため、関係課と連携しながら進めていく。

【質問】第二小学校の学区には若者向け住宅が1か所しかない。今後、住宅を整備していく考えはあるか。

【町長】町道磐梯大谷線の整備計画も踏まえ、民間事業者による整備や住宅の新築・中古購入を組み合わせるなど、民間の力を活用しながら、補助制度の拡充や見直しも行っていきたい。

【質問】本町には高校がない。北塩原村などでは通学定期券の全額補助を行っている。本町でも高校生の通学定期券補助を行う考えはあるか。

【町長】定期券の補助は子どもたちの学習機会の格差を縮小する有効な施策だ。現実的で効果的な運用を慎重に検討していく。

**問** ふれあいセンターの有効活用を！  
**答** 活用に向けて検討していく

【質問】ふれあいセンターの指定管理費3300万円に加え、今年度は1000万円の予算を補正し、年パスを発行するなど利用促進策を講じているが、依然として採算は厳しい。また、利用者の半数以上が町外者だ。町民の健康増進のため施設をどのように活用していく考えか。

【教育長】指定管理者制度となつて3年目となるが、撤退の話も出ている。継続してもらえるよう協議している。

【質問】喜多方市では押切川公園などに命名権を導入し、5年間で1000万円の契約を締結した。本町でも命名権を活用して財源確保やPRを行う考えは。

【教育長】今後検討したい。

【質問】指定管理の参考にした北海道白糠町では温浴施設を併設した結果、黒字化した。本町でも温浴施設やサウナを整備する考えはあるか。

【教育長】施設整備の事業費や将来の維持コストが大きいため、慎重に検討していく。

【質問】進入路や看板、町民グラウンドや緑地広場など、周辺施設を整備する計画は。

【教育長】一体的に整備することが理想だが、費用がかかるので総合的に判断していく。



活用が望まれる  
ふれあいセンター



録画配信は  
こちら

中嶋貴子議員

**問** 町民体育祭を今後どうしていくか？

**答** 誰もが参加できる形への見直しを検討する

【質問】毎年9月に開催される町民体育祭は、世代を超えた交流が生まれる本町らしい行事である。一方、参加者減少や高齢化、行政区辞退の増加が課題となっている。今年度の出場状況や辞退区数の現状を町としてどのように捉えているか。

【教育長】今年度は実行委員会と協議した結果、午前開催・前回同様の種目で実施した。参加は15地区約500人で、地区数・参加者数ともに減少した。参加者確保が難しく、年齢要件により団体競技に参加できない行政区もあった。

【質問】体力に依存しない全員参加型種目を増やす考えはあるか。

【教育長】種目は委員会と協議しており、今後は他町村の事例も参考に検討する。あわせて、高齢者から子どもまで参加できる全員参加型個人種目の導入も検討する。

【質問】行政区単位で選手確保が難しくなる中、行政区参加を基本としつつ、個人参加や合同チーム、町関連団体の参加など多様な参加形態を認める考えはあるか。

【教育長】団体競技では複数行政区参加を認めているが、調整が難しく実現していない。今後は学校行事との連携などを検討し、幅広い世代が関われる機会づくりを通じて、参加形態のあり方を探っていく。

【質問】行政区の体育委員やスポーツ団体、町職員の負担軽減のため、希望者による実行委員会方式など運営体制を見直す考えはあるか。

【教育長】負担軽減のため、希望者による実行委員会方式の導入など、地域学校協働本部とも連携しながら、体制の見直しを前向きに検討していく。

**問** 国の給食費無償化を町はどう考えるか？  
**答** 国の方針を踏まえ、魅力化を進める

【質問】国は令和8年4月から公立小学校給食費の無償化を全国一律で実施する方針を示した。本町はこれまで「無償化より魅力化」を掲げてきたが、国の方針を受け、保護者負担を原則としてきた立場をどのように再整理していく考えか。

【教育長】町はこれまで「無償化より魅力化」の理念のもと給食の質向上に取り組んできた。国の方針により前提は変わるが、今後は国の補助を活用しながら、魅力化施策の維持・強化を図っていく。



学校でも食の楽しみを

【質問】国費投入により保護者負担が軽減される分、町独自の「給食魅力化施策」をどのように維持・強化するのか伺う。

【教育長】町独自の施策により一層注力し、給食の質を損なうことなく、地元食材の活用や食育の充実など魅力化施策を継続・強化していく。

【質問】国が月額4,700円を補助する場合でも、実際にかかる給食費からは不足していると思われる。その差額は保護者負担とするのか、町が負担して完全無償化とするのか。

高橋 浩次 議員

録画配信は  
こちら



**問** メガソーラーについて

**答** 今後の状況を注視する

【質問】メガソーラー開発において、産業廃棄物を不法投棄された場所の近くに布藤水源や法正尻水源があるが、安全な水の供給に問題は無いのか。

【町長】水道水は水道法に基づき定期的に水質検査を実施しており、現時点において異常は確認されていない。なお、メガソーラー事業に伴う大規模な森林伐採が水源に及ぼす影響については、引き続き注視していく。

【質問】メガソーラー施設の建設予定について町は把握しているか。

【町長】現時点で、これから新たに計画されるメガソーラー施設建設予定についての相談は受けていない。

【質問】福島市のようにメガソーラー等の設置を抑制するような条例を制定する考えは。

【町長】現時点で条例を制定

する予定はない。なお、福島県では豊かな水資源を守るため、県内全ての民有林を対象に令和8年2月に施行される福島県水源地域保全条例を制定した。この条例はメガソーラー整備をはじめ、土地開発により水質、水量への影響を防ぐもので、従来の森林法や農地法による法令では迅速な実態把握が難しい現状を、この条例による立入り調査制度の運用により素早く対応し貴重な水資源を保全するものであり、森林や農地等の大規模開発抑制に繋がるものと考えている。今後この条例施行後の状況を十分に注視したいと考えている。



設置されたメガソーラー

**次回の定例会は3月上旬に行なわれます。**

ぜひ傍聴においでください。

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入だけです。

くわしい日程は、後日チラシ等でお知らせします。

議会を傍聴する際、3階へはエレベーターをご利用ください。



小林 修 治 議員

録画配信は  
こちら



**問** そば刈汎用コンバイン取得整備の考えは

**答** JAの更新計画に基づき支援を検討する

【質問】今年度、複数のそば専用コンバインが機械の老朽化等もあり、刈取り途中で故障し、刈取り時期を逸して品質・収量等に影響を及ぼした。現状を踏まえ、町におけるそば生産の事業継続のため、汎用コンバイン更新整備事業を計画的に取り組めないか。

【町長】汎用コンバインの更新について、ここ10年位JAからの要望がない。

今後はJAの更新計画に基づき支援を検討する。

【質問】そばの乾燥調整施設でもあるJAライスセンターについて、稼働限界が指摘される中、更新に向けたこれまでの協議の経緯と課題を伺う。あわせて、設備が使用できない場合の緊急時バックアップ体制の確保についても伺う。

【町長】ライスセンターの整備については、JAの更新計画等において必要な支援があれば検討していく。

緊急時のバックアップ体制

は、JAがしっかり対応していくことになっている。

【質問】「そば生産の途絶」は町産業全体の損失にもつながることから、そば産地としての持続性確保の具体策を伺う。

【町長】そば産地の持続性の確保については、引き続き、品質、収量の向上を図るため、県やJAと連携し、生産情報等の提供、及び産地交付金や畑地化促進助成を行っていく。また、磐梯そばの認知向上を図るため、町はPR事業を通じて町内外へ情報を発信し、出口戦略を強化していく。



稼働中の汎用コンバイン

**問** 無理なく支え合う地域づくりの取組は

**答** 住民活動の支援に集落支援員を配置する

【質問】限界集落の増加により、担い手不足や高齢化が進み、「助ける側」が減少する一方で、「助けられる側」は増加している。行政依存の傾向や住民の主體的な関わりへの意識低下も懸念される中、こうした現状を町としてどのように認識し、どのような対策を講じていく考えか。

【町長】行政に頼らない共助の取り組みが難しくなっていると認識している。

そのため「住民・地域エンパワメントプロジェクト」の取り組みの中で、防災士養成講座など、各種資格取得助成を進めている。

【質問】日常の気づきの受け止め、行政へのつなぎ役、地域活動の調整・伴走、緊急時の初動支援など、住民活動を後方支援する役割を担う体制を構築する考えはあるか。

【町長】町と集落をつなぐ人材について、今年度初めての試みとして集落支援員を配置した。

今後は集落の支援体制を構築するべく、支援員の加配を視野に、住民活動をより支援できるような集落支援員の体制を考えていく。

【質問】地域課題を行政だけで解決するのではなく、町民の創意・主体性を活かした小規模でも意欲的な地域活動に對して、「協働推進交付金制度」の創設は考えられないか。

【町長】地域活動を支援する制度の創設については、提示した各種支援メニューとの整合性を精査しながら、町民の創意工夫を後押しできる仕組みの創設を慎重に検討していく。



**問** 本町に誕生する農業拠点施設の今後は

**答** 持続可能な農業を支援する施設に

【質問】 ばんだい振興公社農業部門の農業拠点について、現地では、事務所や物販、カフェ、ドッグラン、加工所、保管庫、駐車場などの構想について説明を受けたが、これは草案であり、今後さらに良い拠点を目指して検討を重ねていくとのことであった。

一方、農業者からは高齢化や担い手不足等といった切実な声が多く寄せられ、農地保全を重視した「守りの農業」が求められている。

例えば、農業拠点の人材が条件不利農地や水路の維持管理を支援することが出来ないか。

また、拠点内の建物を研修生や協力隊、集落支援員、移住者などが柔軟に滞在できる宿泊施設に出来ないか、農業拠点の在り方について町の考えを伺う。

【町長】 農業支援拠点施設については、昨年に財産を取得し、12月定例会において設置条例が議決された。

主な業務としては、地域資源を活用した持続可能な農業の推進、農作物の生産・加工・流通販売、担い手や新規就農者の受入支援、地域コミュニティ支援などを想定している。今後は、多様なアイデアにより人を呼び込み、地域との交流を通じて持続可能な農業を支援する施設として整備していきたい。

また、運営にあたっては、民間企業等受入型の地域おこし協力隊や、民間企業からの支援についても、今後検討していく。



## 視察研修受入

10月29日、北海道月形町議会10名による視察を受け入れました。

磐梯町の地域公共交通について調査に來られ、オンデマンド交通等の政策を行政経営課から説明を行い、その取組について活発な質疑応答と意見交換が出来ました。



月形町議会の皆様と



視察研修の様子

## 全国町村議会広報研修会

8月28日(木) 東京都のLINE CUBE SHIBUYAで、全国町村議会広報研修会が開催され、町議会から広報委員会の委員3名が受講してきました。インタビューライターの丘村奈央子氏他2名を講師に迎え、議会広報紙におけるインタビュー記事の活用や、スマホを活用した撮影技術、動画作成の基本について講義を受けました。今後は、研修の内容を実際の議会だよりに反映していきたいと思えます。



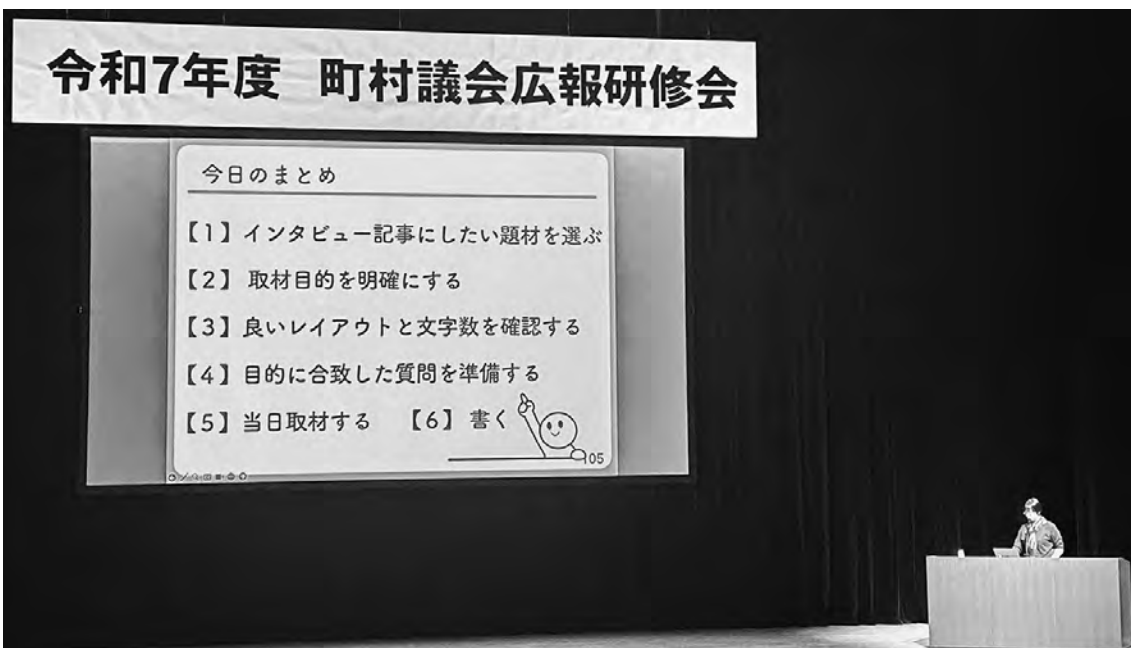
## 令和7年度 町村議会広報研修会

今日のまとめ

- 【1】インタビュー記事にしたい題材を選ぶ
- 【2】取材目的を明確にする
- 【3】良いレイアウトと文字数を確認する
- 【4】目的に合致した質問を準備する
- 【5】当日取材する
- 【6】書く



105



広報研修会の様子

## 会津耶麻町村議会議員研修会

10月3日（金）磐梯町交流館において、令和7年度会津耶麻町村議会議員研修会が、4町村の議会議員42名の参加のもと開催されました。

研修会は、磐梯町副町長菅原直敏氏を講師に迎え、「数字で紹介する町民の幸せ再デザイン」を演題に磐梯町で取り組んでいる特命業務（DX、幸せプロジェクト）の沿革・概要について説明され、これまでの取り組みの成果を数値として示されました。

研修会後は、株式会社シグマ会津工場を訪問して、実際にカメラレンズの製造工程を見学するとともに、シグマの全製品がここ会津工場で生産されている等、世界で活躍するための会社の体制や技術について説明を受けました。



株式会社シグマ会津工場を見学



研修会の様子

10月20日（月）郡山市のビッグパレットふくしまコンベンションホールで、県町村議会議員研修会が開催され、町議会議員全員で参加してきました。

研修会は、大正大学地域創生学部教授 江藤俊昭氏と政治ジャーナリストでコメンテーターでもある田崎史郎氏の2名を講師に迎え、まず、江藤氏から「地方議会・議員の役割と議会改革の必要性」を演題に住民自治の根幹としての議会の作動として議会役割の向上や新たな議会のあり方について提言をいただきました。次に、田崎氏からは、「今後の政局・政治展望」を演題に、総裁選後の展開予想や山積する政策課題、メディアの課題等の話がされました。今後、研修会を通して学んだことを議会活動に活かしていきたいと思えます。

## 福島県町村議会議員研修会



江藤教授による講演



研修会参加者

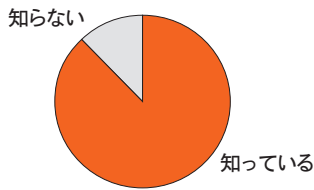
# 磐梯の名水で乾杯！

## ばんだい名水シンポジウム アンケート報告

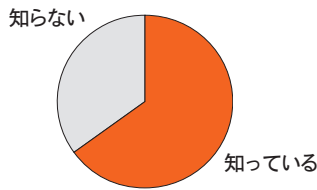


令和2年9月に、本町で初めての議員立法で「磐梯名水乾杯条例」を制定しました。磐梯の名水に関するイベントなどを、議員もお手伝いしています。今年度は11月3日に「ばんだい名水シンポジウム」が行われました。アンケートで寄せられた皆様からの声を紹介します。

「磐梯西山麓湧水群」を知っていますか？



「磐梯名水乾杯条例」を知っていますか？



### ＜磐梯名水乾杯条例＞

▷ 5月の第一水曜日が名水（May水）の日

▷ 磐梯町産の水、日本酒、リンゴジュース、トマトジュースなどで乾杯しよう！

### ＜町の水が魅力的だと思ったエピソード＞

- 郷土料理の「豆かずのこ」の乾燥青豆を戻した時、鮮やかな緑色に戻るので感激です。東京で戻すと色が鮮やかな緑色にならないのがっかりしていました。
- 東京から帰省した身内の者は磐梯の水を「宝の水」と呼び、これを磐梯の名品として商品にしてはということは前から言っていました。
- お茶、コーヒー、水割りが、美味しい。町外のコーヒーショップが龍ヶ沢の水を18Lの容器に数本運んでいるのを見たことがある。
- 町外の人からとても美味しいと多く感想をいただく。
- ペットボトルのお水を他県の友達に飲んでもらったら美味しいねの声をもらえたこと。大きいペット（2L）にして販売したら良いのではと思いました。
- きゅうりの味がスーパーで売っているもの比べて美味しい。
- 地下水も使用していますが、使用していて水道水とそんなに違いを感じていないのでいいなと思っています。美味しいです。
- 愛犬には地下水をあげていますが、水のおかげかどうか、17歳と長生きしています。
- 水道水がそのまま飲めて、しかも大変美味しい。水道水で炊いたお米が美味しい。ご飯の炊き上がった香りが良い。
- 町を歩くと水の音がする。特に春先から夏にかけて、その音を聞きつつ歩くのは楽しい。
- 農作業をして汗をかき、一休みという時にペットボトルではなく自宅の水を冷やして飲むと、「うまい!!」この一言が出ます。どれほど旨いことか。わが町の誇りです。
- 他町村の方は水を買っているのに磐梯町は美味しい水にあふれていることは素晴らしいと思う。町民の心と体はうるおい、幸せだと思う。
- 飲み口がよく暑い日にぐくぐく飲むことができ、美味しく感じた。

議長	鈴木 久一
発行責任者	編 集
編 集	議会広報委員会
委員長	穴澤 一郎
副委員長	中嶋 貴子
委員	五十嵐 大将
委員	古川 綾

12月に、(仮称)ばんだい認定こども園の安全祈願祭に出席しました。いよいよ建設工事が始まります。本町の教育に関しては、令和8年4月から学校選択制が始まります。第一小学校の学区から第二小学校へ、新たに5人の子供たちが通うことを希望しており、第二小学校の1、2年生の複式学級が解消される予定です。いま、磐梯の教育は、新たな取り組みで新たな局面に差しかかったところでは、磐梯町に訪れている機会がよりよいものとなるよう、議会としても案を出し合い、議論して、町とともに考えていきますので、どうぞ皆さんも声をお寄せください。

(文責 古川 綾)

### 編集後記